

ご家族・二世帯住宅の中でもご覧下さい

防災だより

第 28 号

小田急金森泉自治会 自主防災隊

2025 年 11 月 2 日発行

小川高校での「初めて住民参加した防災訓練」報告

連続の台風一過、常設の開設委員を含め総勢 132 名（周辺 5 自治会員は初めてなので対象絞り 124 名、市職員 6 名、学校管理者 2 名）の参加を得て訓練を行いました。参加者アンケートからも成果や課題など、今後の取組みへの貴重な資料を得ましたので報告致します。

なお、現在の当自治会の避難広場は「わさび田公園」、避難施設は「小川高校」です。

●今回訓練目的 ⇨ 小川高校の避難広場と避難施設を知る（現場と現物の確認）

市立の小・中学校と違ってご家族の入学はまれで、周辺住民は校内を知りません。大災害時の「避難広場グラウンド」や「避難施設体育館など」場所や使い方を知っておく必要があります。

●訓練概要など 日時 ⇨ 2025 年 10 月 13 日（月・祝）10：00～11：30

参加者数内訳 ⇨ 成瀬が丘 56・小田急金森泉 23・小川かえで 26・西小川 13・京浜小川 6

▼正門の避難広場案内図 ▼避難広場グラウンド「自治会のぼり」に集合 ▼開設委員のベスト



▼屋内用居住テント 2m×2m が 50 張り倉庫在庫 ▼体育館内で備品などの説明を聞く



▼50 食を一度に作れるアルファ化米の非常食セット（1100 食在庫）・他にも非常食あり



●アンケート結果 ⇨ 総括 災害時の当施設機能の認知度高いが、訓練や本番の運営に課題

★ 回答者数 107 名（開設委員対象外）

★ %値は、全回答に対する「はい」や「訓練要望」の率で、（ ）内は主な意見など

★ 100%との差は「いいえ」や「無回答」、なお、%の整数以下は四捨五入

▶小川高校の災害時の3つの機能を、ざっと理解できましたか？ 92%

▶機能1 ⇨ 避難広場（グラウンド）についての理解度

- ・避難広場は震度5強以上で開設 96%
- ・グラウンドの住民と生徒等すみ分け 97%
- ・開設などに協力できそう 93%（時による、高齢、自宅遠い）

▶機能2 ⇨ 避難施設（体育館など）についての理解度

- ・施設開設は震度6弱以上で開設 97%
- ・自宅に住めない人の生活の場 100%
- ・運営は避難生活者が自ら行う 99%（はじめは委員で徐々に避難者）
- ・生活ルールや運営マニュアルがある 93%

▶機能3 ⇨ 支援物資受取場所や行政などとの情報受発信場所についての理解度

- ・避難施設生活者と周辺住宅避難者の、両方のための施設 94%

▶当日運営は適切でしたか？

- ・開始時刻や所要時間は？ 94%（開始説明長い、全内容に対し時間短い）
- ・内容や説明は？ 89%（音量小さく聞こえにくい、屋内の他説明と混合）

▶今後の当施設での住民訓練などについて（複数回答可の要望率）

避難広場（グラウンドなど）について

- ・広場集合訓練 52%
- ・開設訓練（正門案内掲示、広場のぼり設置など） 52%
- ・通信訓練（トランシーバーで自治会地域と高校間の状況通信訓練） 23%

避難施設（体育館など）について

- ・体育館など屋内開設訓練（居住スペース、照明、掲示物など設置） 63%
- ・屋外施設などの開設訓練（受付、簡易トイレ、掲示物など設置） 58%
- ・炊き出し訓練 29% ・簡易トイレ使い方 35% ・倉庫から資機材搬送 23%

▶自由意見など（内容が似ているものは、まとめてあります）

- ・初めて校内に入り様々なことが分かった（学校施設、災害時の使い方など）
- ・トイレ状況や体育館スペース運用が心配
- ・自治会組織優先は後のトラブルになるのでは？ 非会員区別は無理では？
- ・大勢へのアナウンスが、本番でも全員に届くような工夫必要（資機材備え）
- ・今後も繰り返し訓練を行い、必要事項の説明などを願いたい

以上の結果やご意見などは、今後の防災訓練の参考や改善に役立てて参ります。